

阿部県政 6 年

報 告 書

(2016 年 8 月 19 日～21 日調査)

I	調査の設計	1
II	調査のポイント	3
III	調査の概要	4



一般社団法人 長野県世論調査協会

Tel 026-233-3616 Fax 026-233-3610

<http://www.nagano-yoron.or.jp>

I 調査の設計

◆調査の目的

阿部守一知事は9月1日で就任6年、2期目の折り返しを迎える。「長野県総合5か年計画～しあわせ信州創造プラン～」が3年を経過、国のまち・ひと・しごと創生法に基づく「長野県人口定着・確かな暮らし実現総合戦略」も2015年度からスタートしている。

こうした計画や総合戦略は県民に理解され進んでいるのか。阿部知事6年間の施策はどう評価されているのか。6月県会の論議を踏まえて、県内の有権者800人を対象に県政への意識を探った。

◆調査の設計

▽調査対象	県内に住む18歳以上の男女800人
▽抽出方法	県内を東北中南の4地区に分け、さらに18歳～70歳以上の7つの年代層・性に分割し“県下の有権者の縮図”となるように人数を比例配分して、各市・各郡の対象者数を設定。夏の参院選から18歳選挙権が実施されたので、今回から18～19歳も対象にした。
▽調査方法	個別電話聞き取り・RDD（ランダム・デジット・ダイヤリング）法で実施。コンピューターで無作為に発生させてかける電話調査法で、電話帳に番号を載せていない人も調査できる。無作為に発生させた番号のうち、設定した年代・性の人を選び、目標の800人に達するまで抽出して聞き取りを行った。
▽調査地点	19市9町6村
▽調査時期	2016年8月19日～21日
▽有効回答	813人（男性 364人 女性 449人）

<注>

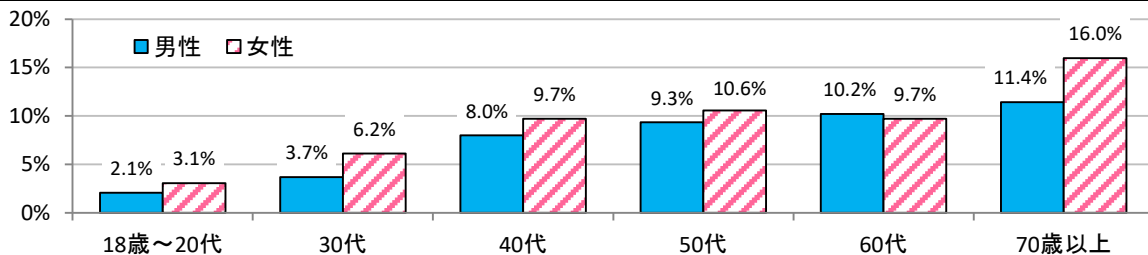
①報告書のパーセント数字は小数点第2位を四捨五入。合計が100にならない場合がある。

②見出しのパーセント数字は原則として小数点以下を四捨五入した。

◆サンプルの内訳

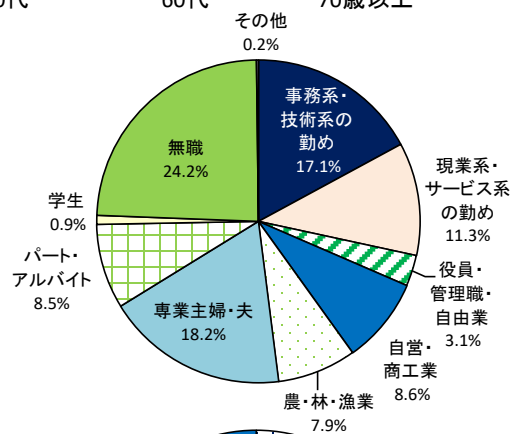
【性別と年代】

	合計	18歳～20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
全体	813	42	80	144	162	162	223
	100.0%	5.2%	9.8%	17.7%	19.9%	19.9%	27.4%
男性	364	17	30	65	76	83	93
	44.8%	2.1%	3.7%	8.0%	9.3%	10.2%	11.4%
女性	449	25	50	79	86	79	130
	55.2%	3.1%	6.2%	9.7%	10.6%	9.7%	16.0%



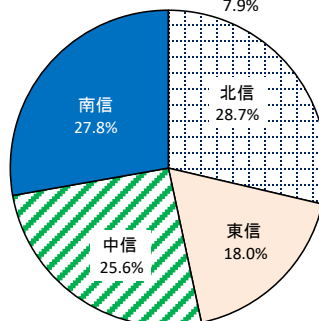
【職業】

事務系・技術系の勤め	139	17.1%
現業系・サービス系の勤め	92	11.3%
役員・管理職・自由業	25	3.1%
自営・商工業	70	8.6%
農・林・漁業	64	7.9%
専業主婦・夫	148	18.2%
パート・アルバイト	69	8.5%
学生	7	0.9%
無職	197	24.2%
その他	2	0.2%



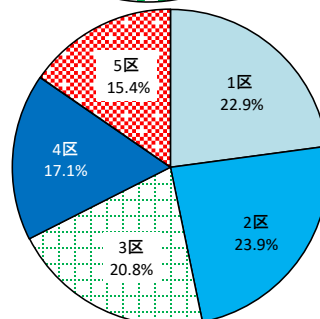
【地域】

北信	233	28.7%
東信	146	18.0%
中信	208	25.6%
南信	226	27.8%



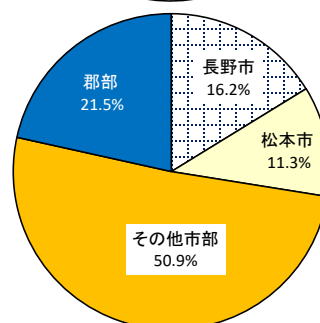
【選挙区】

1区	186	22.9%
2区	194	23.9%
3区	169	20.8%
4区	139	17.1%
5区	125	15.4%



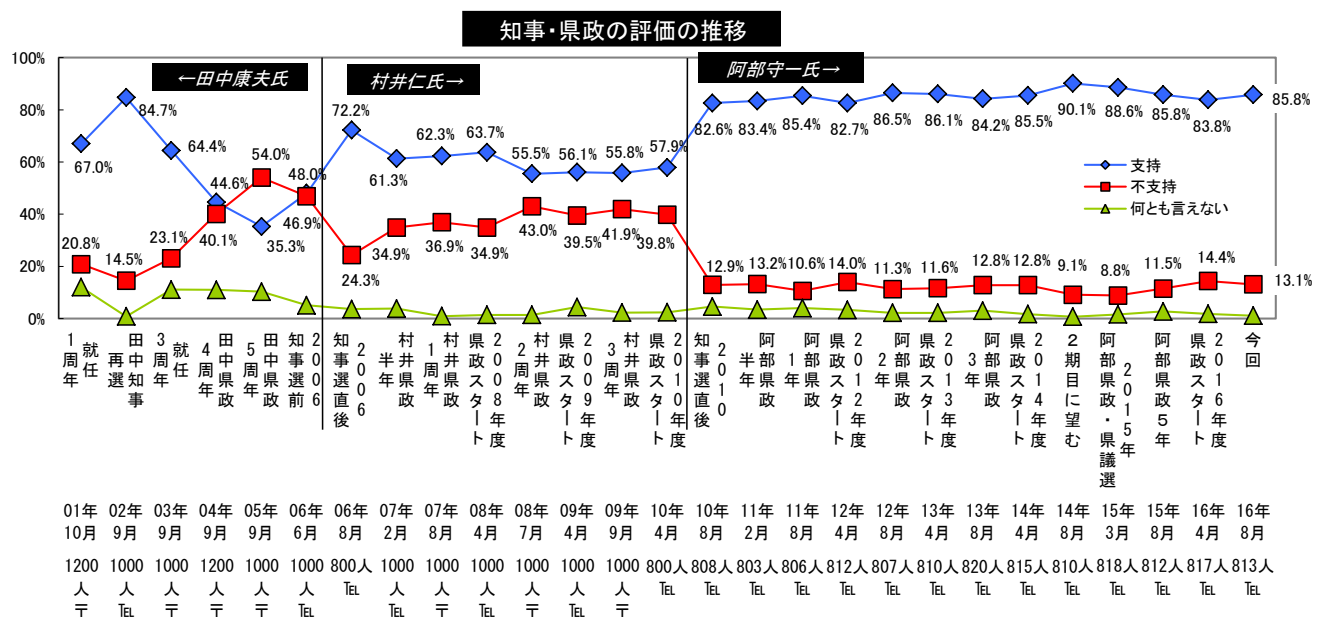
【市郡】

長野市	132	16.2%
松本市	92	11.3%
その他市部	414	50.9%
郡部	175	21.5%



Ⅱ 調査のポイント

- ① 阿部守一知事が6月県会に提案した「長野県子どもを性被害から守るための条例」が成立したことを「良かった」と「どちらかといえば良かった」を合わせ80%に上った。
- ② 佐久市に建設を決めた県立武道館は「建設することを知らない」が36%、賛成と反対が30%台で拮抗と、まだ県民に理解されていない。
- ③ 阿部県政6年の施策評価では「観光」が高い半面、「産業振興・雇用」は低い。
- ④ 阿部知事の支持率は全体で85.8%、前回調査（「2016年度阿部県政スタート」、4月）より2ポイントアップした。男女、年代、職業、地域で見ても80%以上の高い支持率は共通となっている。



<注>田中県政当時は「なんともいえない」を郵送調査(〒)のみ選択肢として明示

	01年 10月	02年 9月	03年 9月	04年 9月	05年 9月	06年 6月	06年 8月	07年 2月	07年 8月	08年 4月	08年 7月	09年 4月	09年 9月	10年 4月	10年 8月	11年 2月	11年 8月	12年 4月	12年 8月	13年 4月	13年 8月	14年 4月	14年 8月	15年 3月	15年 8月	16年 4月	今回
支持する	36.6%	50.5%	29.7%	15.1%	11.6%	14.1%	35.9%	20.6%	19.6%	22.4%	17.8%	15.9%	16.0%	26.1%	40.5%	39.7%	35.5%	27.5%	32.2%	35.7%	41.0%	37.8%	43.8%	46.8%	40.1%	41.1%	36.8%
どちらかといえば 支持する	30.4%	34.2%	34.7%	29.5%	23.7%	33.9%	36.3%	40.7%	42.7%	41.3%	37.7%	40.2%	39.8%	31.8%	42.1%	43.7%	49.9%	55.2%	54.3%	50.4%	43.2%	47.7%	46.3%	41.8%	45.7%	42.7%	49.0%
どちらかといえば 支持しない	10.1%	8.0%	11.4%	17.5%	18.0%	25.9%	14.0%	24.6%	24.9%	24.6%	30.7%	28.7%	28.7%	21.3%	8.4%	9.3%	7.9%	10.6%	8.2%	9.1%	8.9%	9.0%	6.4%	6.5%	7.9%	9.7%	9.3%
支持しない	10.7%	6.5%	11.7%	22.6%	36.0%	21.0%	10.3%	10.3%	12.0%	10.3%	12.3%	10.8%	13.2%	18.5%	4.5%	3.9%	2.7%	3.4%	3.1%	2.5%	3.9%	3.8%	2.7%	2.3%	3.6%	4.7%	3.8%
なんともいえない わからない	12.0%	0.8%	11.1%	11.0%	10.3%	5.1%	3.6%	3.8%	0.9%	1.4%	1.4%	4.4%	2.3%	2.4%	4.6%	3.4%	4.0%	3.3%	2.2%	2.3%	3.0%	1.7%	0.7%	2.6%	2.7%	1.8%	1.1%
不明	0.2%	-	1.3%	4.3%	0.4%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

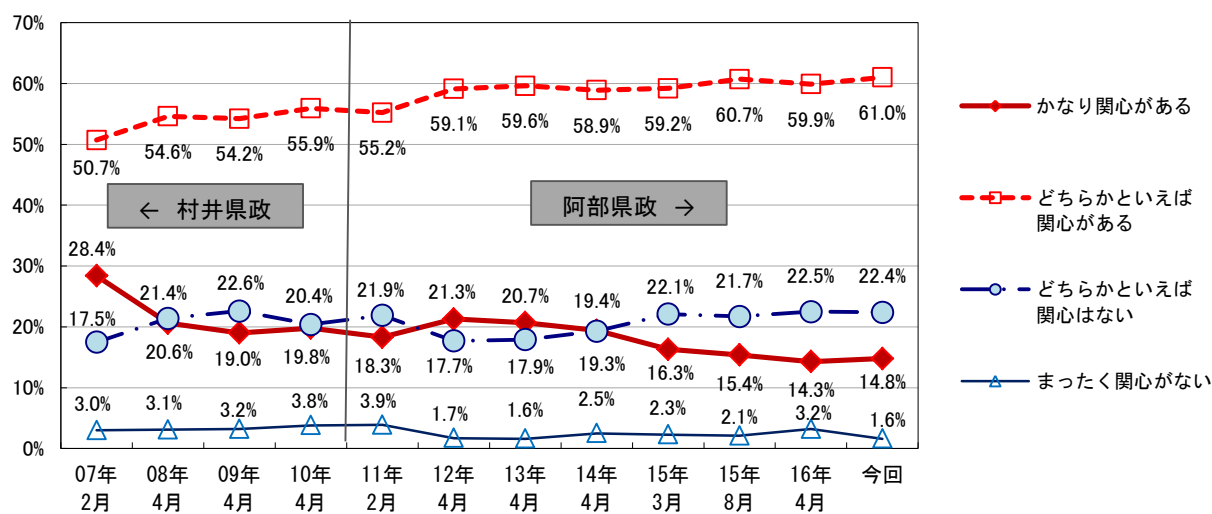
Ⅲ 調査の概要

県政への関心

(問1)

◆「関心がある」70%台で安定

県政に「かなり関心がある」14.8%、「どちらかといえば関心がある」61.0%を合わせ「関心がある」は75.8%と、高い水準で安定している。年齢が高いほど関心が高くなる傾向は変わりなく、60代以上が8割前後に対し18歳～30代は6割程度だ。職業別では役員・管理職・自由業と農・林・漁業が8割超と高い。



長野県経済や暮らし向きの現状

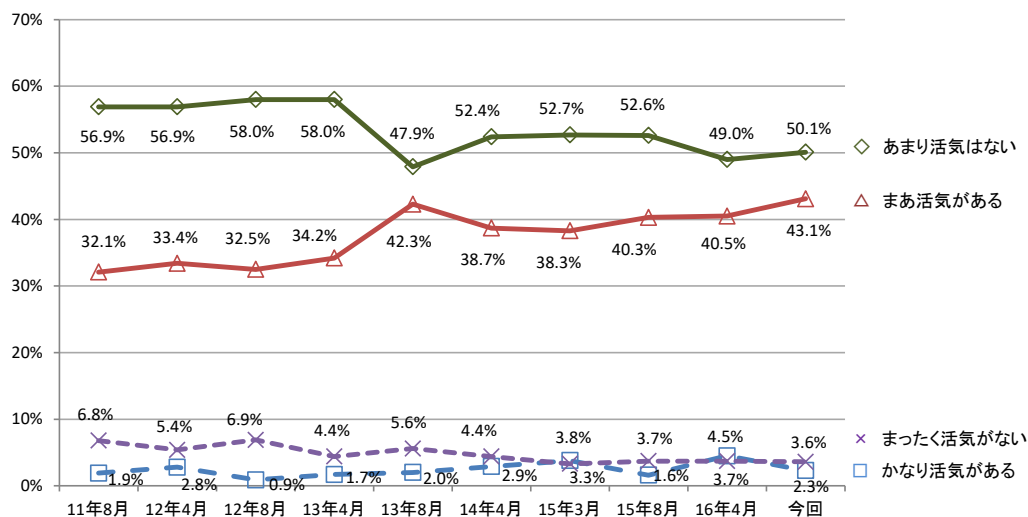
(問2)

◆「活気がない」いぜん過半数

長野県の経済や県民の暮らし向きの現状への受け止めを継続して聞いている。「かなり活気がある」2.3%、「まあ活気がある」43.1%、「あまり活気はない」50.1%、「まったく活気がない」3.6%で、

「活気がない」と思っている人が53.7%でいぜん過半数だ。

「活気がない」は40代と50代がほぼ6割、自営・商工業が64.3%で特に高い。

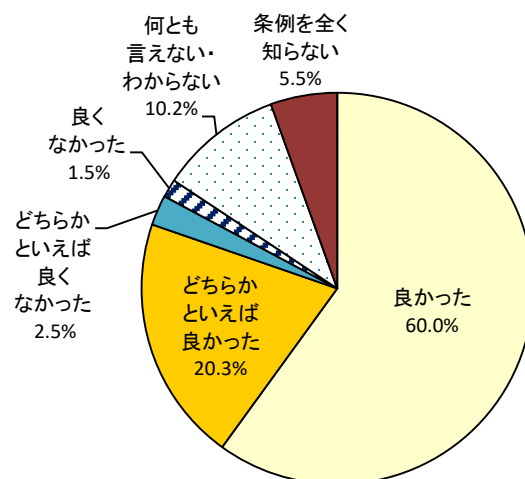


阿部県政の課題や取り組みについて、6月県会での論議を中心に5項目（大型事業は2施設）に絞り聞いた。

◆「子どもを性被害から守るための条例」成立 8割が「良かった」

阿部知事が提案した青少年との性行為への処罰規定を盛った「長野県子どもを性被害から守るための条例」が、県会で可決・成立したことを「良かった」60.0%、「どちらかといえば良かった」20.3%を合わせ8割が「良かった」と思っている。性別、年代、職業や地域、支持政党別でも「良かった」が多数を占める。

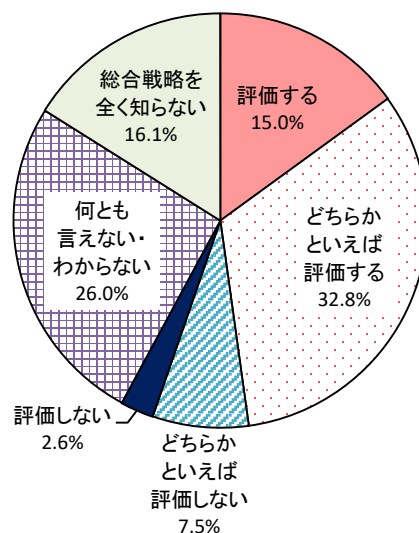
「良くなかった」は全体で4.0%、「何とも言えない・わからない」10.2%で「条例を全く知らない」は5.5%だった。ただ30代以下の若い層は「何とも言えない・わからない」が約2割と、他の年代に比べて多い。



◆人口減少対策の総合戦略 半数近くが評価

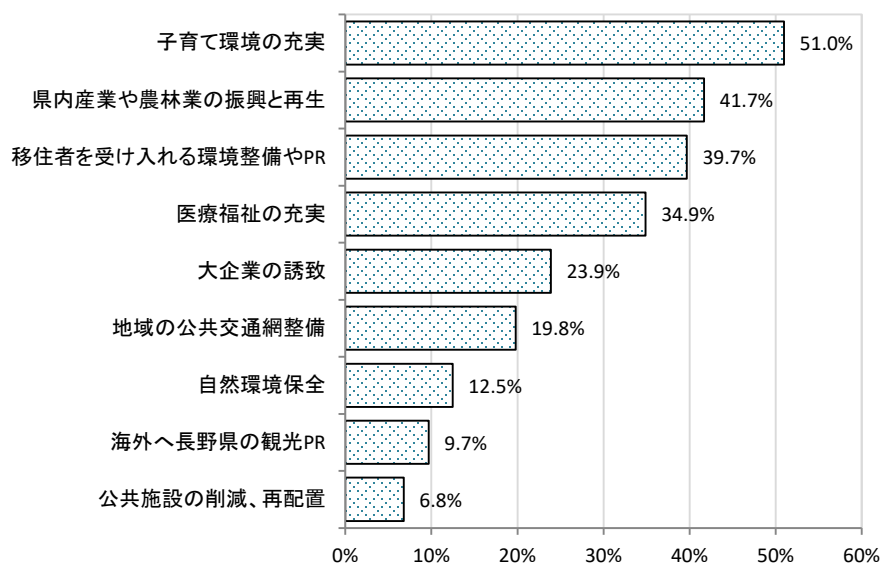
県が昨年度策定した人口減少対策の総合戦略（「長野県人口定着・確かな暮らし実現総合戦略～信州創生戦略」）は「評価する」15.0%、「どちらかといえば評価する」32.8%と半数近くの47.8%が評価、評価しないは全体で10.1%。

ただ「何とも言えない・わからない」26.0%、「総合戦略を全く知らない」16.1%で4割以上が中身を把握していないようだ。特に40代以下は両者を合わせると半数以上に達する。



◆人口減少社会での施策 「子育て環境の充実」が最も重要

進む人口減少社会において、長野県にとって重要な施策（3つ以内）を尋ねたところ「子育て環境の充実」51.0%、「県内産業や農林業の振興と再生」41.7%、「移住者を受け入れる環境整備やPR」39.7%がトップ3。次いで「医療福祉の充実」34.9%、「大企業の誘致」23.9%、「地域の公共交通網整備」19.8%と続く。



「子育て環境の充実」

はとりわけ若い年代の重要度が高く 18 歳～20 代 71.4%、30 代 61.3%に上る。

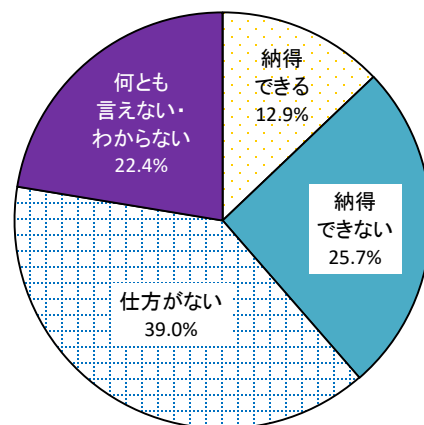
「県内産業や農林業の振興と再生」は 70 歳以上と職業別で農・林・漁業は 1 番目に挙げている。

◆補助金不正受給事件での返還支出 「納得」13%、「仕方がない」39%

大北森林組合の補助金不正受給事件で、県が国に返還する補助金と加算金の合計 11 億 5300 万円の予算案を 6 月県会で可決した。加算金の約 3 億 5 千万円は県職員の採用抑制と超過勤務手当の削減で捻出するという、この県予算の支出についてどう思うか聞いた。

「仕方がない」が 39.0%、「納得できない」25.7%、「何とも言えない・わからない」22.4%で「納得できる」は 12.9%と少数だった。

多くの属性で「仕方がない」が多いものの、役員・管理職・自由業と自営・商工業の経営責任を負う立場の層は、「納得できない」がほぼ 4 割と厳しく見ている。

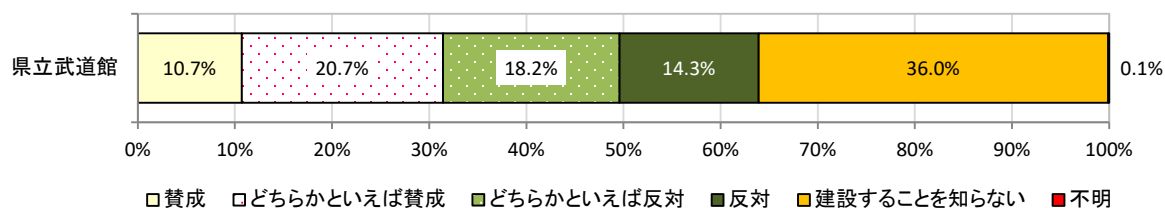


◆県立武道館建設 「知らない」が3人に1人

県が佐久市に建設を決めた県立武道館と全面改築方針の県信濃美術館の2つの大型事業について賛否と認知度を尋ねた。

県立武道館について「建設することを知らない」が36.0%と最も多く、反対が全体で32.5%、賛成31.4%と賛否は拮抗している。「建設することを知らない」は女性と40代以下、地域では南信が4割以上だ。

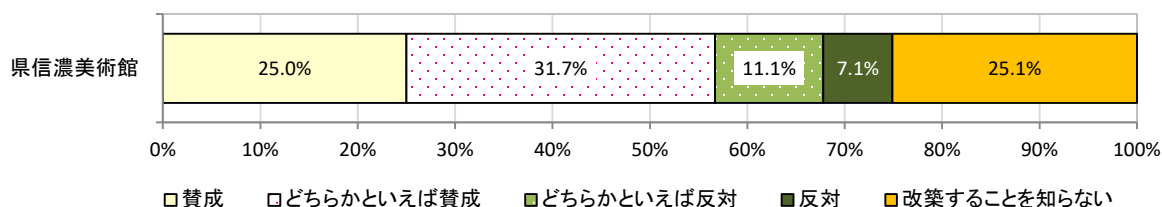
地域で賛成が反対を上回るのは建設地の東信のみ。県は既に設計者も募集しているが、約50億円の大型事業がまだ県民に浸透しているとは言えない段階だ。



◆県信濃美術館改築 賛成が全体で過半数

県信濃美術館の全面改築には「賛成」25.0%、「どちらかといえば賛成」31.7%、「どちらかといえば反対」11.1%、「反対」7.1%で、賛成が反対を38ポイント余上回る。「改築することを知らない」は25.1%。

属性全てで賛成が多く、老朽化している信濃美術館改築には概ね理解を示している。

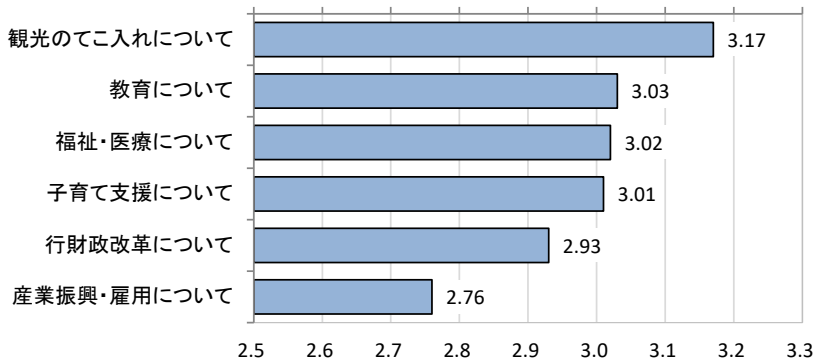


◆高い「観光」 低い「産業振興・雇用」

阿部県政 6 年間の施策をどう評価するか、6 分野を 5 段階（最低 1 点～最高 5 点）で聞いた。

最も評価が高いのは「観光のてこ入れ」で平均 3.17 点、次いで「教育」3.03 点、「福祉・医療」3.02 点、「子育て支援」3.01 点で 4 分野が 3 点を超えた。

◆施策評価の平均点



評価が 1 番低いのは「産業振興・雇用」の 2.76 点、「行財政改革」は 2.93 点だった。

人数による分布を見ると、6 分野とも 3 点とした人が最多で 40%～50% 台。評価が高い 4 点と 5 点の合計で 3 割超が「観光のてこ入れ」、逆に低い 1 点と 2 点の合計で 3 割超が「産業振興・雇用」となっている。

性別や年代、職業による大きな差異は見られない。

